

自分たちで考えた、自分たちの運動会！



年長組の子どもたちにとっては、こども園最後の運動会。運動会に向け、春から遊びの中で、様々な運動の用具に触れ、自由に遊んだり、ルールのあるゲームをしたりしながら、まずは「楽しい！」気持ちを膨らませることを大切にしてきました。

体育館に出かける際にも、「広さを活かしてどんなことをしたいか」を、事前に話し合っ決めてたり、新しい遊びをやってみたいりしながら、少しずつ運動会に向かって、形にしてきました。

「おうちの人に、どの競技を見てもらいたいかな？」と、話し合いを重ね、コツコツ取り組んできた綱引きやリレー、友だちと息を合わせる“台風の目”、自分の全力の走りをみせる“かけっこ”、をやりたい！見てもらいたい！と段々と話がまとまっていきました。

運動会に向かう中で、勝って喜んだり負けて悔しがったりしながら、友だちと作戦会議をしたり、お父さんやお母さんからアドバイスをもらったり、自分から練習をしたり…目標に向かって考えたり行動したりする姿がたくさん見られました。

運動会に向かう中で、一人一人が、たくさんの葛藤を乗り越えて、友だちと心を通わせ合いながら、ここまで来ました。

当日は悔し涙やうれし涙があるかもしれませんが、これまで一生懸命に取り組んできたからこそその姿ですので、これまでの頑張りをたたえ、温かい励ましや拍手などをよろしくお願いたします。



遊びの中で盛り上がってきた“綱引き”を運動会でやろうと決めてからは、自分たちから綱引きの練習をする姿が見られました。力いっぱい引っ張る練習は簡単には上手いかず、話し合ったり、試行錯誤したり…友だちと声を掛け合い、保育室でも園庭でもバス園外先でも自主練！

生活の中でも、「つなひきかちたいし、おかわりする！つよくなりたいたいから！」などの会話も…当日も全力を出し切って、頑張れー！

